

VI. 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査結果

1 調査概要

〈調査目的〉	第1期計画策定から4年経過した現在における、区民の皆様の福祉保健に関する意識と、みどりのわ・ささえ愛プランに対するご意見とを伺い、第2期計画策定の基礎資料とする。
〈実施期間〉	平成21年10月15日(木)調査票発送 ~ 11月2日(月)投函締切
〈調査対象〉	20歳以上の緑区民 3,000人
〈抽出方法〉	住民基本台帳からの無作為抽出による

2 調査結果

〈有効回収数〉	1,013人
〈回収率〉	33.8%

◇ 調査結果の中から、「みどりのわ・ささえ愛プラン」基本目標1～5に沿った内容を抜粋しています。

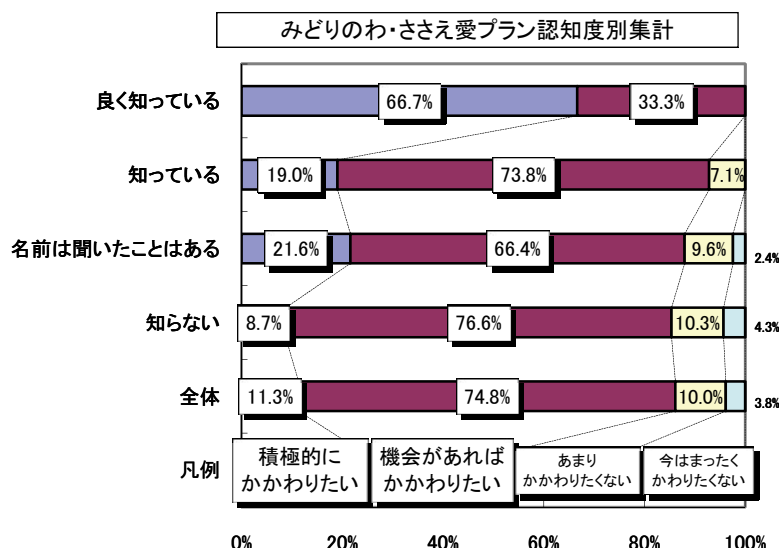
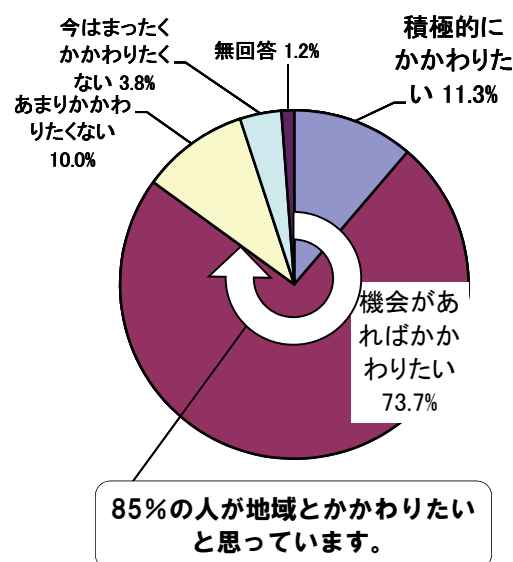
基本目標1 地域での「つながり」を大切にするまちづくり

～地域の方とかかわりたいと思う程度について～

●あなたは今後、地域の方(子どもも含めて)とどの程度かかわりたいですか？[問12]

地域の方とのかかわりについては、「機会があればかかわりたい」「積極的にかかわりたい」を合わせると、85%の方が地域の方とかかわりたいと思っています。

みどりのわ・ささえ愛プラン認知度別集計を見ると、プランを良く知っている人ほど、地域の方とかかわりたいと思っています。



《区民の声》(自由意見欄から)



・みどりのわ・ささえ愛プランの基本目標によって、人々のつながりができたら素晴らしい区になると思います。(70代女性)

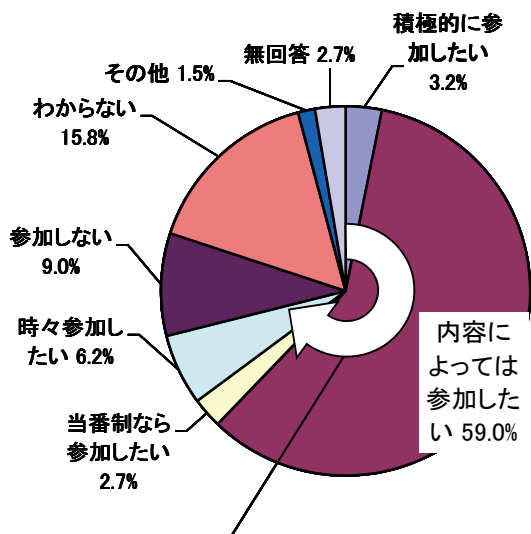


・地域住民が顔見知りとなり、お互いに協力してささえあえる雰囲気づくりが大切だと思います。(40代男性)

基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり

～地域のボランティア活動への参加依頼に対する対応について～

●あなたが今後、地域のボランティア活動への参加依頼があった場合どうしますか？〔問16〕



約7割（71.1%）の方が地域のボランティア活動への関心を持っています。

地域のボランティア活動への参加依頼に対しては、「内容によっては参加したい」が59.0%と最も多く、「積極的に参加したい」、「当番制なら参加したい」、「時々参加したい」を含めると、約7割の方が地域のボランティア活動への関心を持っています。

《区民の声》（自由意見欄から）



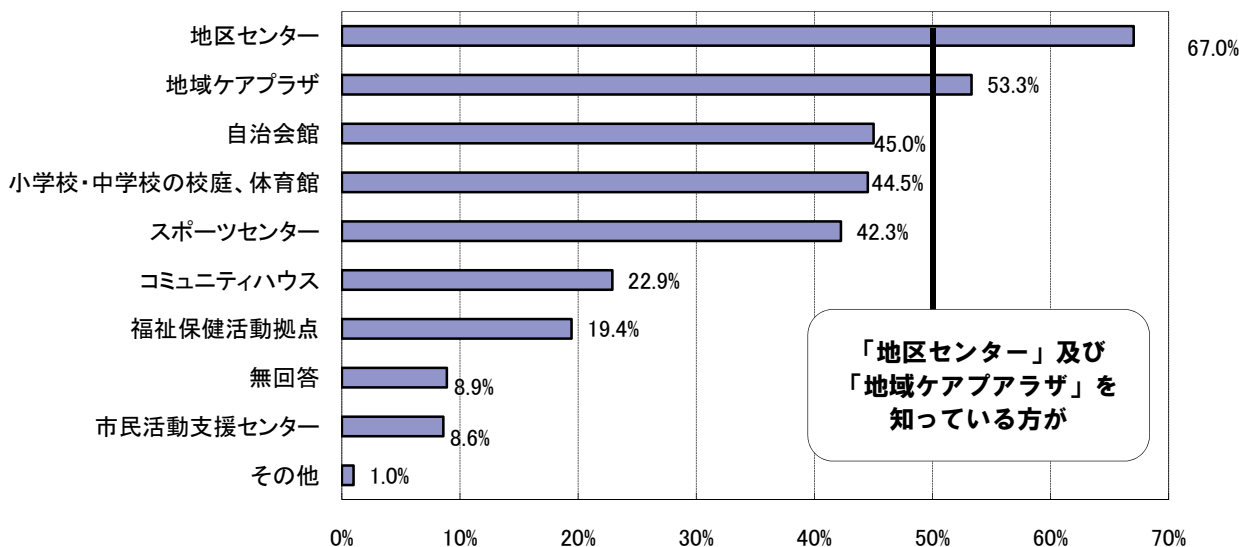
・中高年の人が経験や特技を生かしてボランティアに気軽に参加できるようになればよいと思います。（50代女性）

基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり

～地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設の認知度について～

●あなたは地域のボランティア活動・余暇活動に利用できるものとして次の施設を知っていますか？〔問17〕

地域のボランティア活動・余暇活動に利用できる施設では、「地区センター」及び「地域ケアプラザ」を知っている方が5割を超えています。また、自治会館、小中学校の校庭・体育館、スポーツセンター等の施設がよく知られています。



「地区センター」及び「地域ケアプラザ」を知っている方が

《区民の声》（自由意見欄から）

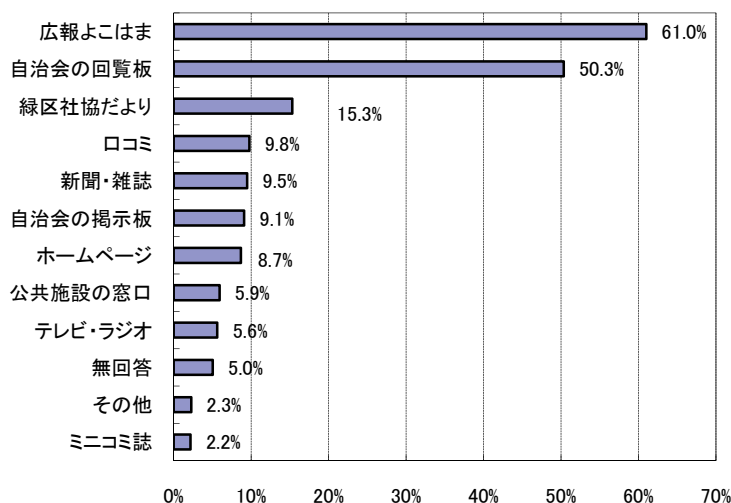


・いろいろな人との交流できる場がたくさんあって、誰もが顔見知りでいられるとよいと思います。（30代女性）

基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり

～地域の福祉保健に関する情報の入手方法について～

●あなたは、地域の福祉保健情報をどのような手段で得ることが多いですか？〔問22〕



地域の福祉保健情報を知る手段は、「広報よこはま」が約6割、「自治会の回覧板」が約5割となっています。
また、「緑区社協だより」、「口コミ」、「新聞・雑誌」、「自治会の掲示板」、「ホームページ」等が活用されています。

《区民の声》（自由意見欄から）



・広報紙は読みやすいですが、さらに進んで読むのが楽しい紙面づくりをお願いします。（60代女性）



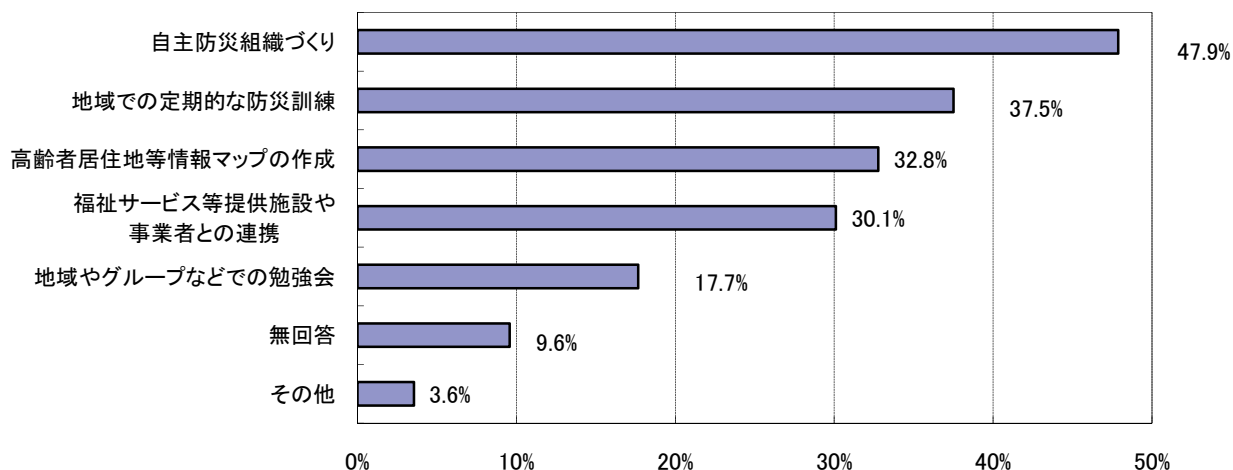
・みどりのわ・ささえ愛プランを知らなかったもので、ホームページを覗いて見ようと思います。（50代男性）

基本目標5 「安心・安全・健康」のまちづくり

～災害時に備えて住民がささえあう地域づくりをすすめるために必要なことについて～

●あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には何が重要だと思われますか？〔問28〕

「災害時に住民がささえあう地域づくり」では、「自主防災組織づくり」が約5割で必要とされています。また、防災訓練や情報マップ、施設や事業者との連携も求められています。



《区民の声》（自由意見欄から）



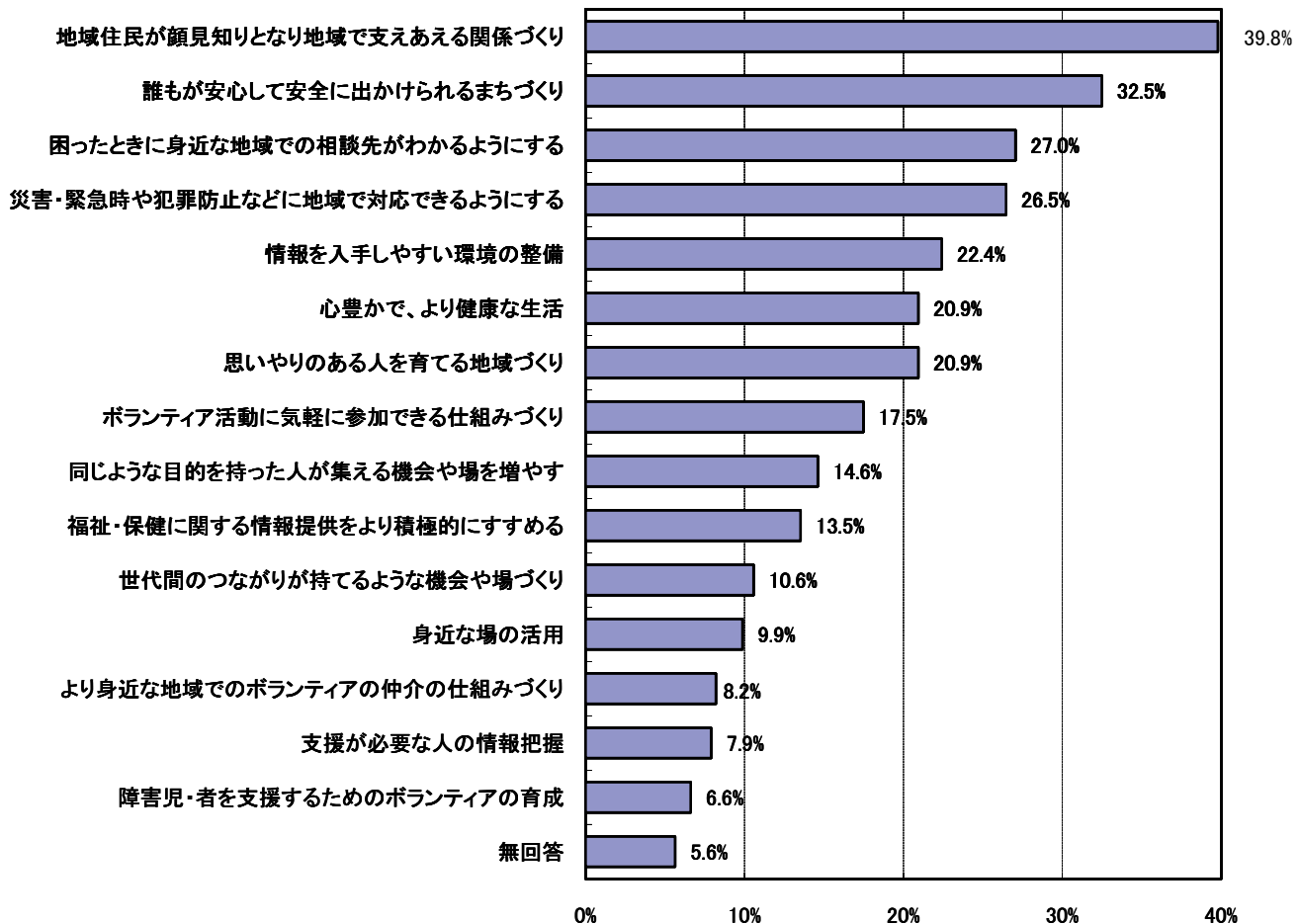
・一人暮らしでも、安心・安全に住めるまちになればよいと思います。（60代女性）

今後、緑区の地域福祉で重点的に取り組む必要があること



- 今後、あなたが緑区地域福祉を考えたときに、重点を置いて取り組む必要があると思われるものをあげてください。〔問32〕

「地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり」（基本目標1「つながり」）が約4割と最も多く、次に「誰もが安心して安全にでかけられるまちづくり」（基本目標5「安心・安全・健康」）が約3割となっています。



《区民の声》（自由意見欄から）



・心豊かで健康な生活、誰もが安心して出かけられるようなまちにしたいと思います。そのためには、やはり人と人とのつながりが一番重要だと思います。（30代女性）



・緑区が福祉保健のまちとして、日本全国で感じてもらえるまちづくりを望みます。協力してくれる人はたくさんいると思います。（60代男性）

〔最後に〕

今回の調査結果から、『誰もが安心して暮らし続けられる緑区』をめざすためには、**地域における“人と人とのつながり”**が最も求められていることがわかります。

一方で、『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度は、「知らない」が約8割（80.9%）という結果です。（「良く知っている」「知っている」「名前は聞いたことがある」の合計は17.7%、「無回答」は1.4%）

区民の皆様から頂いたご意見をふまえ、『みどりのわ・ささえ愛プラン』を中心に、より多くの区民が繋がっていくことができるよう、緑区では引き続き、わかりやすい広報・PRを行うとともに、**第2期計画策定**に取り組んでまいります。

〔アンケートのご協力、ありがとうございます〕

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート

緑区では、『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～を基本理念に、緑区地域福祉保健計画・地域福祉活動計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（平成18年度～平成22年度）を区民の皆様とともに推進しています。次期計画においては、第1期みどりのわ・ささえ愛プランが目標に向かってどの程度、進んだかを検証し、新たに、①緑区全体の計画と、②各地区の特性に応じた地区別計画を策定します。

今回のアンケートは、第1期計画策定から4年経過した現在における、区民の皆様の地域福祉保健に関する意識と、『みどりのわ・ささえ愛プラン』に対するご意見を伺い、平成23年度から始まる第2期計画策定の基礎資料とするために行うものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本アンケートの趣旨をご理解の上、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

平成21年10月 横浜市緑区長 津田 祐孝



『みどりのわ・ささえ愛プラン』とは・・・

『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあうまちづくり～を基本理念に区民、団体、事業者、社協、区役所が協働で進めていくための計画です。

計画の内容は、5つの基本目標、小目標ごとに具体的な取り組みを示しました。

【5つの基本目標】

1	地域での「つながり」を大切にするまちづくり
2	「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり
3	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
4	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
5	「安心・安全・健康」のまちづくり

【計画実施期間】



※『みどりのわ・ささえ愛プラン』に関する情報は、緑区ホームページでもご覧いただけます。

みどりのわ・ささえ愛プラン **検索** 緑区ホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/midori/fukuho/>



【回答の前に、裏面の“ご記入いただく上でのお願い”をお読みください。】

ご記入いただく上でのお願い

- アンケート調査の対象者は、20歳以上の緑区民3,000人を無作為に抽出させていただきます。
- この調査票の回答は、これを送付させていただいた **宛名のご本人様** にお願ひします。なお、ご本人様にご記入できない場合は、ご家族などご本人様の状況をご存知の方にご記入をお願いします。
- ご記入にあたっては次の要領をお願いします。
 - (1) 回答は、当てはまる番号に○をつけてください。
 - (2) 質問によっては、「○は1つ」、「○はそれぞれ1つずつ」「◎○は1つずつ」、「当てはまる番号にすべてに○」、といったことわり書きがありますので、回答に注意してください。
 - (3) 回答が、その他に当てはまる場合には、[] に具体的な内容をご記入ください。
 - (4) 具体的な内容、理由、自由意見を求める質問には、回答にご協力ください。
- ご記入いただいた調査票は、**11月2日(月)(消印有効)** までに、同封しました返信用封筒にてご返送ください。
- このアンケート調査についてご不明な点がありましたら次のところまでお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

緑区役所 福祉保健課 事業企画担当

TEL 930-2304 FAX 930-2355

E-mail: md-fukuho@city.yokohama.jp



※ お答えいただいた内容は本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表することは一切ありません。

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査票

◆ あなた自身のことについて、お尋ねします。

問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。（番地は必要ありません。）

横浜市緑区	(町)	丁目
-------	-----	----

問2 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたの年齢は次のうちのどの区分に属しますか。（○は1つ）（平成21年10月1日現在）

1 20歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳
5 60歳～64歳	6 65歳～69歳	7 70歳～79歳	8 80歳以上

問4 あなたは緑区に生まれてから何年になりますか。（○は1つ）（平成21年10月1日現在）

1 1年未満	2 1年以上～5年未満	3 5年以上10年未満	4 10年以上
--------	-------------	-------------	---------

問5 あなたの現在暮らしているお住まいはどれにあたりますか。（○は1つ）

1 持ち家（戸建て）	2 持ち家（マンション）	3 借家（戸建て）
4 借家（アパート、マンション）	5 借家（市営、公営住宅等）	
6 その他 []	

問6 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。（あてはまる番号にすべて○）

1 祖父	2 祖母	3 父	4 母	5 配偶者	6 兄弟姉妹
7 お子さん	8 孫	9 いない（一人暮らし）	10 その他 []	

問7 あなたご自身の状況で次の項目に該当するものはありますか。（あてはまる番号にすべて○）

1 自分自身が介護認定を受けている	
2 自分自身が障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	
3 家族に65歳以上の方がいる	4 家族に介護認定を受けている方がいる
5 家族に就学前の子どもがいる	6 家族に障害者手帳を持っている方がいる
7 該当なし	

問8 あなたのお仕事の状況は次のどれに該当しますか。（お仕事は、主として就かれているもの）

1 仕事についている（常勤・フルタイム）	2 パート・アルバイト		
3 仕事についていない	4 学生	5 その他 []

◆ 地域でのつながり(地域とのかかわり)について、お尋ねします。

問9 あなたはご自身がお住まいの地域の自治会に加入していますか。(〇は1つ)

- 1 加入している
2 加入していない



2 加入していないと答えた方は
その理由を差し支えない範囲でご記入ください。

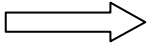
理由

問10 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか。(〇は1つ)

- 1 こちらから積極的にしている
2 時々している
3 向こうから声をかけられたらしている
4 まったくしない

問11 あなたは今までに、話し相手や困ったことの手伝いなど地域での助け合いを個人的にしたりされたりしたことがありますか。(〇は1つ)

- 1 ある
2 ない



1 あると答えた方は
どのような助け合いですか。具体的にご記入ください。

問12 あなたは今後、地域の方(子どもも含めて)とどの程度かかわりたいですか。(〇は1つ)

- { 1 積極的にかかわりたい
2 機会があればかかわりたい
3 あまりかかわりたくない
4 今は全くかかわりたくない

問12-1

- 1 積極的にかかわりたい
2 機会があればかかわりたい

と答えた方はどの程度の関係ですか
(あてはまる番号にすべて〇)

- 1 あいさつする
2 相談できる
3 一緒に活動できる
4 その他 []

問12-2

- 3 あまりかかわりたくない
4 今はかかわりたくない

と答えた方は その理由を差し支えない範囲でご記入ください。

理由

問13 隣近所で困っている方がいた場合、あなたは、どの程度かかわれる（手助けできる）と思われますか。（○はそれぞれ1つずつ）

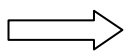
手助け できること	選択肢	積極的に かかわ れる	時々なら かかわ れる	難しい	わからない
(1) 安否確認の声かけ		1	2	3	4
(2) 話し相手		1	2	3	4
(3) 悩み事、心配ごとの相談		1	2	3	4
(4) ちょっとした買い物		1	2	3	4
(5) ちょっとした家事		1	2	3	4
(6) ごみ出し		1	2	3	4
(7) 玄関前、庭等の掃除		1	2	3	4
(8) 短時間の子どもの預かり		1	2	3	4
(9) 子育ての相談		1	2	3	4
(10) 学童の送迎		1	2	3	4
(11) 保育園・幼稚園の送迎		1	2	3	4
(12) 通院の付き添い		1	2	3	4
(13) 病気のときの看病		1	2	3	4
(14) その他 地域で困っている方にかかわ れること(手助けできること) があれば具体的にご記入くだ さい。		[]			

◆ 地域のボランティア活動への参加について、お尋ねします。

ボランティア活動とは・・・「何か地域のための役立ちたい」という自発的な意思と責任のもとで社会貢献を行うことで、個人で行うものや、グループを作ったり、あるいは既存のグループ・団体に所属しての活動等、幅広い範囲の活動をさします。

問14 あなたは地域のボランティア活動にこの近年に1度でも参加したことがありますか。（○は1つ）

1 ある
2 ない



1 ある と答えた方は
いつ頃、どのようなボランティア活動ですか。具体的にご記入
ください。
[]

問15 あなたは地域のボランティア活動に参加するとしたら、何が必要だと思われますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 気軽に参加できる		2 自分の趣味や特技にあっている	
3 交通費などの実費が支払われる		4 多少の金銭的な報酬(交通費以外)	
5 活動時の保険などの補償の整備		6 講習会など学べる環境	
7 その他 []			

問16 あなたが今後、地域のボランティア活動への参加依頼があった場合どうしますか。(○は1つ)

1 積極的に参加したい	2 内容によっては参加したい
3 当番制なら参加したい	4 時々参加したい
5 参加しない	6 わからない
7 その他 []	

◆ 地域のボランティア活動・余暇活動を実施するための施設について、お尋ねします。

問17 あなたは地域のボランティア活動・余暇活動で利用できるものとして次の施設を知っていますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 地域ケアプラザ	2 地区センター	3 コミュニティハウス	4 自治会館
5 スポーツセンター	6 福祉保健活動拠点(ハーモニーみどり内)		
7 小学校・中学校の校庭、体育館	8 市民活動支援センター	9 その他 []	

問18 上記問17の施設をより使いやすくするために必要なことは何だと思えますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 気軽に集まることのできるスペース		2 利用対象者の拡大	
3 利用時間の見直し		4 利用予約方法の簡素化	
5 施設や利用可能な場所の情報		6 その他 []	

◆ 福祉保健に関する情報について、お尋ねします。

問19 あなたは『みどりのわ・ささえ愛プラン』を知っていましたか。次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1 よく知っている	2 知っている
3 名前は聞いたことはある	4 知らない

問20 あなたが、知りたいと思う地域の福祉保健に関する情報は次のうちどれですか。最も知りたいものに◎、次に知りたいものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 健康づくりの情報		2 高齢者のための情報	
3 ボランティア活動の情報		4 子育ての情報	
5 講座や教室等の情報		6 保健・福祉イベントの情報	
7 障がい者のための情報		8 各種相談窓口についての情報	
9 その他 []			

問21 あなたにとって地域の福祉保健の身近な相談相手は誰ですか。最も身近な相談相手に◎、次に身近な相談相手に○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 家族・親戚		2 友人・知人	
3 近所の親しい人		4 民生委員・児童委員	
5 保健活動推進員		6 身近な施設の相談員	
7 病院や薬局の人		8 区役所職員	
9 区社会福祉協議会職員		10 地域ケアプラザ職員	
11 その他 []			

問22 あなたは、地域の福祉保健に関する情報をどのような手段で得ることが多いですか。最も多いものに◎、次に多いものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)		(回答欄)	
1 広報よこはま		2 緑区社協だより	
3 自治会の回覧板		4 ホームページ	
5 公共施設の窓口		6 自治会の掲示板	
7 口コミ		8 新聞・雑誌	
9 テレビ・ラジオ		10 ミニコミ誌	
11 その他 []			

問23 あなたは、地域の福祉保健に関する情報を知りたいときに、容易に手に入れることができると思いますか。次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

1 できる	2 できない	3 どちらともいえない
-------	--------	-------------

問24 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員としてあなたが知っているものは次の中でどれですか。(あてはまる番号にすべて○)

1 区役所(区福祉保健センター)	2 区社会福祉協議会	3 地域ケアプラザ
4 地区社会福祉協議会	5 自治会長	6 民生委員・児童委員
7 主任児童委員	8 保健活動推進員	9 友愛活動推進員
10 食生活等改善推進員	11 地域子育て支援拠点いっぼ	
12 みどり地域活動ホームあおぞら	13 緑区生活支援センター	14 保育園
15 その他 []		

◆ 地域の安心・安全・健康について、お尋ねします。

問25 あなたが日頃、防災に関して配慮していることは何ですか。最も配慮しているものに◎、次に配慮しているものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

(回答欄)

1 避難袋の準備点検		2 水・食糧の備蓄 (3日間程度)	
3 家具の転倒防止対策		4 防災訓練や避難訓練への積極的参加	
5 家族で災害時連絡方法等を決めている		6 近所で助けが必要な人を把握している	
7 広域避難場所について確認している		8 その他 []	

問26 あなたは市立小学校、中学校が地域防災拠点となっていることを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問27 あなたは緑区の災害時要援護者把握のための「防災ささえあいカード」の取り組みを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問28 あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には何が必要だと思われますか。最も必要なものに◎、次に必要なものに○をつけてください。(◎○は1つずつ)

(回答欄)

1 自主防災組織づくり	
2 地域の高齢者などがどこに住んでいるか一目でわかる「マップ(地図)」の作成	
3 地域での定期的な防災訓練	
4 地域やグループなどでの勉強会	
5 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	
6 その他 []	

問29 あなたが日頃から健康のために心がけていることはありますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 お酒を飲み過ぎない(又は飲まない)	2 タバコを吸い過ぎない(又は吸わない)
3 適度な運動をする	4 年に1回健康診断を受ける
5 バランスを考えた食事をする	6 規則正しい生活をする
7 適正体重を維持する	8 適度な休養をとる
9 食後の歯磨きをする	10 ストレスをためない
11 その他 []	

問30 あなたがご自身の健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思われますか。(あてはまる番号にすべて○)

1 体力測定・健康チェック	2 健康づくり体操	3 ウォーキング
4 健康レシピによる調理実習	5 禁煙教室(禁煙相談)	6 健康づくりに関する講演会
7 運動交流などのイベント	8 その他 []	
9 参加したい活動はない		

◆ 緑区の地域福祉の現状とこれからの取り組みについて、お尋ねします。

問3 1 第1期みどりのわ・ささえ愛プラン（平成18年度～平成22年度）では、5つの基本目標を設定し15の小目標を推進しています。あなたは、策定前の4年前（平成17年頃）と比べて、個々の取り組みは、どの程度進んでいると思われますか。（○はそれぞれ1つつ）

基本目標		小目標	選 択 肢					わからない
			進んでいる	ある程度進んでいる	どちらともいえない	あまり進んでいない	進んでいない	
基本目標1	つながり	(1) 地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり	1	2	3	4	5	6
基本目標2	人材・担い手	(2) より身近な地域でのボランティアの仲介の仕組みづくり	1	2	3	4	5	6
		(3) ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくり	1	2	3	4	5	6
		(4) 障がい児・者を支援するためのボランティアの育成	1	2	3	4	5	6
		(5) 思いやりのある人を育てる地域づくり	1	2	3	4	5	6
基本目標3	機会・場	(6) 身近な場の活用	1	2	3	4	5	6
		(7) 同じような目的をもった人が集える機会や場を増やす	1	2	3	4	5	6
		(8) 世代間のつながりがもてるような機会や場づくり	1	2	3	4	5	6
基本目標4	情報	(9) 困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにする	1	2	3	4	5	6
		(10) 福祉・保健に関する情報提供をより積極的にすすめる	1	2	3	4	5	6
		(11) 情報を入手しやすい環境の整備	1	2	3	4	5	6
		(12) 支援が必要な人の情報把握	1	2	3	4	5	6
基本目標5	安心・安全・健康	(13) 災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるようにする	1	2	3	4	5	6
		(14) 誰もが安心して安全に出かけられるまちづくり	1	2	3	4	5	6
		(15) 心豊かで、より健康な生活	1	2	3	4	5	6

問3 2 問3 1における第1期みどりのわ・ささえ愛プランの15の小目標の中で、今後、あなたが緑区の地域福祉を考えたときに、重点を置いて取り組む必要があると思われるものを上位3つまであげてください。最も必要なものに◎、2番目に必要なものに○、3番目に必要なものに△をつけてください。
(◎○△は1つずつ)

(回答欄)

1	地域住民が顔見知りとなり地域で支えあえる関係づくり	
2	より身近な地域でのボランティアの仲介の仕組みづくり	
3	ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みづくり	
4	障がい児・者を支援するためのボランティアの育成	
5	思いやりのある人を育てる地域づくり	
6	身近な場の活用	
7	同じような目的をもった人が集える機会や場を増やす	
8	世代間のつながりがもてるような機会や場づくり	
9	困ったときに身近な地域での相談先がわかるようにする	
10	福祉・保健に関する情報提供をより積極的にすすめる	
11	情報を入手しやすい環境の整備	
12	支援が必要な人の情報把握	
13	災害・緊急時や犯罪防止などに地域で対応できるようにする	
14	誰もが安心して安全に出かけられるまちづくり	
15	心豊かで、より健康な生活	

問3 3 あなたが、①緑区の10年後を考えたときに、ご自身でイメージする福祉保健のまちづくりにとって大切だと感じていることと、②その他、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区政に対して、日頃、感じていることや疑問に思っていることがあれば、ご意見をお聞かせください。

(自由意見欄)

① 緑区の10年後をイメージしたときに、福祉保健のまちづくりにとって大切だと感じていること

② その他、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区政に対して、日頃、感じていることや疑問に思っていること

ご協力ありがとうございました。